

令和3年度

## 「教育に関する事務の管理及び執行状況の 点検・評価」実施報告書

地方教育費行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）第26条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価については、地方自治法第233条第5項に規定する主要な施策の成果を説明する書類（決算主要事業）の作成、議会への提出及び公表を行うことをもって、法第26条第1項の義務を充足しています。

令和4年9月

浪江町教育委員会

令和3年度

# 主要な施策の成果

福島県 浪江町

### 3. 民 生 費

#### ◆児童手当

(教育委員会事務局)

科目 3 - 2 - 2 (決算書 1 2 3 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
180,990,000	152,585,664		28,404,336

中学校修了前児童を養育している方に、家庭における生活の安定と次代を担う児童の健全な育成を図るため支給した。

○対象児童数 1,327 名

#### ◆子ども医療費助成事業

(教育委員会事務局)

科目 3 - 2 - 3 (決算書 1 2 5 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
11,798,316	6,227,063		5,571,253

18 歳までの子どもを養育している方に、子どもの疾病又は負傷の治癒を促進し健康の保持増進を図るため助成を行った。

○受給者数

・未就学児	372 名	助成件数	2,864 件
・小学 1 年生から 3 年生	225 名	助成件数	840 件
・小学 4 年生から 18 歳	815 名	助成件数	2,456 件

#### ◆屋内アスレチック施設整備事業 (震災関連事業)

(教育委員会事務局)

科目 3 - 2 - 4 (決算書 1 2 5 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
479,445,694	237,789,000	13,500,000	228,156,694

平成 29 年度の浪江町健康関連施設整備検討委員会からの提言をもとに、旧ふれあいセンターなみえ周辺施設の整備に向け、屋内遊び場施設整備を実施した。

- ・場 所 浪江町大字権現堂字矢沢町地内
- ・構 造 木造 1 階建て
- ・面 積 979 m<sup>2</sup>
- ・施設内容 ふわふわドーム、複合遊具等のプレイスペース  
乳幼児向けのベビーコーナー ボルダリングスペース 等

### ◆保育料助成事業

(教育委員会事務局)

科目 3 - 2 - 4 (決算書 125 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
6,729,090		3,000,000	3,729,090

原発事故の避難により、児童が他自治体の保育所等に入所した際の保育料を助成した。

○対象児童

- ・ 県内 56 名
- ・ 県外 2 名

### ◆出産祝い金支給事業

(教育委員会事務局)

科目 3 - 2 - 4 (決算書 125 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
5,550,000		3,000,000	2,550,000

次代を担う児童の健全な育成を図ることを目的に出産祝い金を支給した。

○支給件数

- ・ 第 1 子、第 2 子 51 件
- ・ 第 3 子以降 15 件

◆認定こども園運営事業

(教育委員会事務局)

科目 3 - 2 - 5 (決算書 125 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
88,802,964	1,175,000	1,989,600	85,638,364

浪江にじいろこども園が平成30年4月1日に開園し、0歳児から5歳児までの保育を行った。

○園児数の推移

H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1
11名	9名	18名	27名	32名

◆認定こども園増築事業

(教育委員会事務局)

科目 3 - 2 - 5 (決算書 129 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
161,271,880	111,656,000		49,615,880

浪江にじいろこども園への入園児の増加傾向及び、帰町する方や移住されてくる方の子育てニーズに対応できるよう園舎を増築し、定員数を増やした。

- 定員数を30名から90名へ増員
- 増築面積 325.37 m<sup>2</sup>
- 保育室3室、トイレ、倉庫を増設

◆低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金 (その他世帯分) (新規事業)

(教育委員会事務局)

科目 3 - 2 - 6 (決算書 129 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
11,750,000	11,750,000		

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給した。

- 支給額 対象児童一人につき 5 万円
- 支給件数 119 件
- 支給対象児童数 235 名

◆子育て世帯への臨時特別給付金給付事業（新規事業）

（教育委員会事務局）

科目 3 - 2 - 7（決算書 129 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
186,700,000	186,700,000		

小学校等の臨時休業等により新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援するため、18 歳未満(高校 3 年生まで)の児童に臨時・特別の給付金を支給した。

- 支給額 対象児童一人につき 10 万円
- 支給件数 1,060 件
- 支給対象児童数 1,867 名

## 4. 衛生費

### ◆母子保健事業

(健康保険課・教育委員会事務局)

科目 4 - 1 - 4 (決算書139頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
11,249,001	3,138,175		8,110,826

県内においては乳児訪問を行い、乳児の発達確認や母親の健康状態の把握、育児相談等を行った。また、各種乳幼児健康診査の受診確認を行い、未受診児への受診勧奨に努めた。さらに、養育のため指定医療機関に入院することを必要とする未熟児に対し、医療費給付を行った。

#### ○実施状況

(単位：人)

事業名	対象者	受診者数
乳児家庭訪問	生後1か月～2か月児	56
乳幼児健診	3か月～12か月児	129
1歳8か月健診	1歳8か月～1歳10か月児	55
3歳6か月健診	3歳6か月児	74
乳幼児家庭訪問(健診事後)	生後3か月～就学前	7
妊婦健康相談(母子手帳交付)	妊婦	44
妊婦健診(前期)	妊婦	37
〃(後期)	妊婦	18
未熟児療育医療給付	未熟児	1
計		421

## 10. 教育費

### ◆生涯学習推進事業

(教育委員会事務局)

科目 10-1-2、10-1-7、10-5-6

(決算書195頁、197頁、209頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
3,540,879	2,620,533		920,346

あつまっぺ交流館（福島市）や町内施設において、専門講師によるハワイアンキルト教室及び絵手紙教室などの町民向けの生涯学習出前講座を開催した。

講習名	実施回数	開催日	参加者総数
ハワイアンキルト教室	2回	7月12日、12月13日	22名
絵手紙教室	1回	7月9日	10名

町内では地域コーディネーターを配置し、子どもたちが学校以外の場所で自然とふれあう活動を行いながら、友達と仲良く、また心身ともに健全に成長を支援するため各教室を行った。

また、全町民を対象とした生涯学習事業として各講座を開催し、町民同士の交流や学びにつなげた。

(子ども週末チャレンジ)

日時	活動名	場所	参加者
5月15日(土)	田植え体験	酒田地内	8名
6月12日(土)	畑体験	北幾世橋地内	8名
7月31日(土)	カニ釣り&海体験	相馬市原釜尾浜海水浴場	11名
8月12日(木)	収穫祭	なみえ創成クラブハウス	7名
10月2日(土)	稲刈り体験	酒田地内	7名
11月27日(土)	遺跡発掘体験	棚塩地内	9名
12月18日(土)	餅つき体験	なみえ創成小学校	9名
1月15日(土) ~16日(日)	雪遊び &スキー体験	県会津自然の家、 猪苗代スキー場	9名

(地域ふれあいチャレンジ)

日時	活動名	場所	参加者
5月29日(日)	第1回珈琲講座	なみえ創成クラブハウス	11名
6月26日(土)	第2回珈琲講座	なみえ創成クラブハウス	6名
8月28日(土)	報徳仕法講座	浪地域スポーツセンター	15名
9月25日(土)	第3回珈琲講座	なみえ創成クラブハウス	15名
10月16日(土)	安達太良山ハイキング	二本松市(荒天のため中止)	—
11月14日(日)	親子ふれあい旅行	福島県立美術館、四季の里	23名

### ◆なみえ創成小・中学校制服支給事業

(教育委員会事務局)

科目 10 - 1 - 2 (決算書195頁)

事業費 (円)	左の財源内訳(円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
945,190			945,190

子育て世帯の町内生活の負担を緩和し、帰還・居住促進を図るため、なみえ創成小・中学校に通学する児童生徒の保護者を対象に制服等の支給を行った。

○支給実績

- ・小学校 28名 417,340円(体操着等28名)
- ・中学校 12名 527,850円(制服4名、体操着等12名)

### ◆子育て世帯住宅支援補助事業

(教育委員会事務局)

科目 10 - 1 - 2 (決算書195頁)

事業費 (円)	左の財源内訳(円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
2,876,500			2,876,500

子育て世帯の町内生活の負担を緩和し、帰還・居住促進を図るため、0~18歳までの子育て世帯での町内賃貸住宅に居住する世帯に家賃補助を行った。

※自己負担家賃の2分の1の額で、上限は月30,000円まで

○助成実績

- ・16世帯 2,876,500円

### ◆遠距離通学費助成事業

(教育委員会事務局)

科目 10 - 1 - 2 (決算書195頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
104,953			104,953

町内への帰還・居住促進を図る観点から、町内から県内の県立高等学校に通学する生徒の保護者に通学費を助成した。

○助成実績

・高等学校 2名 104,953円

### ◆A L T派遣事業

(教育委員会事務局)

科目 10 - 1 - 5 (決算書195頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
5,677,566	3,740,000		1,937,566

外国語指導助手(A L T)との学習機会を設け、児童生徒の語学力向上を図るため、民間より派遣されたA L Tの配置を行い教育環境の向上を図った。

○J E Tプログラム派遣 1名 1,937,566円

※派遣期間 令和3年4月1日～令和3年7月31日

○A L T派遣 1名 3,740,000円

※派遣期間 令和3年8月1日～令和4年3月31日

## ◆スクールバスの運行（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 10 - 2 - 1（決算書199頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
22,860,958	22,802,158		58,800

復興住宅等から学校まで、延べ635回のスクールバスの運行を行った。  
（町有スクールバス運行【1台】232回、業務委託運行【2台】403回）

## ◆なみえ創成小・中学校魅力化事業

（教育委員会事務局）

科目 10 - 2 - 2、10 - 3 - 2（決算書201頁、203頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
4,925,898	1,126,234		3,799,664

なみえ創成小中学校の魅力ある学校とするため、水素やゼロカーボンの学習、浪江の伝統文化の学習などに取り組んだ。

また、勉強だけではなく、子どもたちの自主性、協調性、考える力、コミュニケーション力などを育むため、外部の講師を招聘し演劇ワークショップや哲学対話などの授業を行った。

### ○実施事業

- ・水素学習、水素ドローン学習、ゼロカーボン学習、モーターグライダーによる空から見る浪江町、大堀相馬焼・かぼちゃ饅頭作り、演劇ワークショップ、哲学対話など

## ◆海外学習事業

(教育委員会事務局)

科目 10 - 2 - 2 (決算書 201 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
2,397,570	2,397,570		

令和 3 年 12 月 26 日 (日) から 12 月 28 日 (火) まで町立学校の児童生徒を対象に、岩手県久慈市山形町において浪江町海外学習事業を実施した。現地で留学生と異文化体験や語学研修を通し、言葉や文化の違いを学び、異国に対する理解を深めた。

○参加者数 8 名 うち 生徒 5 名、引率 3 名

## ◆就学援助事業 (震災関連事業)

(教育委員会事務局)

科目 10 - 2 - 2、10 - 3 - 2 (決算書 201 頁、203 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
4,578,247	4,310,006		268,241

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により経済的に就学困難となった児童生徒及び町立学校に通学する児童生徒の保護者に対し、就学に必要な学用品・給食費にかかる経費の一部援助を行い、経済的負担の軽減を図った。なお、避難先自治体にて就学援助を実施している場合は、避難先自治体での就学援助を優先させた。

○援助の状況

(単位：人)

援助人数	小学校	中学校	計
		40	13
うち福島県内	38	12	50
うち福島県外	2	1	3



○ふれあいグラウンド（なみえ運動公園）

- ・場 所 浪江町大字権現堂字矢沢町 16 番地 1
- ・面 積 17,521 m<sup>2</sup>
- ・施設内容 ソフトボール場 2 面、野球場 1 面、サッカー場 1 面、  
ランニングコース（外周）  
倉庫トイレ 1 棟（80.21 m<sup>2</sup>）、夜間照明（8 基）

◆文化財収蔵事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 2（決算書 205 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
6,600,000	5,280,000		1,320,000

発掘した埋蔵文化財や、家屋解体に伴い寄託された文化財や古民具、町で保有しているものなどを保管するための収蔵施設整備に向けて実施設計を行った。

○収蔵庫新築工事実施設計業務委託 6,600,000 円

◆埋蔵文化財発掘調査事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 2（決算書 205 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
359,095,000	269,321,000		89,774,000

浪江町内の復興に向けた環境整備を行うにあたり、埋蔵文化財の本発掘調査及び調査報告書作成を実施し、埋蔵文化財の保護と開発事業の両立を図った。

○主な調査実績

- ・本発掘調査 棚塩字弥平埴地内（弥平埴遺跡） 238,491,000 円
- ・調査報告書作成 北幾世橋植畑地内（植畑遺跡） 120,604,000 円

### ◆病害虫防除事業

(教育委員会事務局)

科目 10 - 5 - 2 (決算書 205 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
2,200,000	1,650,000		550,000

緑の文化財である「大聖寺のアカガシ樹群」のカシノナガキクイムシからの被害を防ぐために防除事業を行った。

### ◆建造物等調査業務

(教育委員会事務局)

科目 10 - 5 - 2 (決算書 205 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
2,167,000			2,167,000

浪江町の住環境の記録として保存するため、津島地区にある古民家 4 棟の調査を行った。

### ◆指定文化財保存修復事業補助

(教育委員会事務局)

科目 10 - 5 - 2 (決算書 207 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
2,990,000			2,990,000

県指定の重要文化財である「旧渡部家住宅」について、東日本大震災及び長期管理不能による建物損傷についての保存修理工事へ補助を行った。

◆郷土芸能復興支援事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 2（決算書207頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
675,134			675,134

東日本大震災の影響により郷土芸能の継承が困難になっているため、各地区の芸能保存会に対し、用具の新調・修理や交通費等の経費の補助を行った。また活動が困難な団体については、用具類を預かり保管を実施した。

- 本事業における補助採択芸能の団体・種別 3団体3種
- ・ 請戸芸能保存会（田植え踊り）
  - ・ 川添芸能保存会（神楽）
  - ・ 浦安の舞芸能保存会（浦安の舞）

◆震災遺構整備事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 10 - 5 - 5（決算書207頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
51,263,202		9,195,900	42,067,302

地震と津波、及び原子力災害の教訓を後世に伝えるために整備した震災遺構請戸小学校の外構工事を行い、10月24日に開館した。

令和3年度来館者数

	一般	高校生	小中学生	その他	合計
個人	14,370名	286名	748名	727名	19,585名
団体	1,815名	1,488名	151名		

- 震災遺構外構等整備工事 33,664,296円

◆浪江町地域スポーツセンター運営事業

(教育委員会事務局)

科目 10 - 6 - 2 (決算書 211 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
32,475,953	230,000	82,800	32,163,153

町民の健康の増進と地域コミュニティの創出の場所として、施設の維持管理及び運営を行った。

○令和3年度 利用状況一覧

	上半期 (4月～9月)	下半期 (10月～3月)	合計
稼働日数	183日	161日	344日
会議室	162件	174件	336件
サブアリーナ	145件	119件	264件
メインアリーナ	277件	219件	496件
トレーニングルーム	3,775人	3,083人	6,858人

※1/30～3/6 まん延防止等重点措置発令のため、トレーニングルーム利用休止

◆復興海浜緑地（多目的広場）整備事業（震災関連事業）

(教育委員会事務局)

科目 10 - 6 - 2 (決算書 213 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
30,517,300	24,376,000		6,141,300

賑わいあふれる交流の場としてパークゴルフ場を整備し、避難先の町民や県内外から多くの人を呼び込み、復興祈念公園へと導く役割を担う復興海浜緑地を整備するための基本計画、基本設計、地質調査及び地形測量を実施した。

◆町営高瀬野球場復旧事業（震災関連事業）

（教育委員会事務局）

科目 10 - 6 - 2（決算書 213 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
25,056,900	14,272,000		10,784,900

東日本大震災及び原子力災害による長期管理不能により、著しく劣化している状況にある町営高瀬野球場の機能を回復するため、現地調査及び実施設計を実施した。

◆保健体育事業

（教育委員会事務局）

科目 10 - 6 - 4（決算書 215 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
2,997,075			2,997,075

野球、ソフトボール、駅伝といった県内の各種市町村対抗の大会へ出場する選手へのサポートを実施した。

また、東京2020パラリンピック開催に向けた、聖火フェスティバルの種火起こしを町内で実施した。

○市町村対抗等町外大会参加状況

大会名	大会日	場所	参加者	備考
双葉郡スポーツ交流大会	7月上旬	富岡町 他	8 町村	新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止
県民スポーツ相双大会	9月上旬	南相馬市 他	12 市町村	新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止

市町村対抗福島県 軟式野球大会	9月20日 9月25日	須賀川牡丹台球 場	51 市町村	対国見町 ○ (6-5) 対富岡町 ● (3-5)
市町村対抗福島県 ソフトボール 大会	10月23日	相馬光陽 ソフトボール場	52 市町村	1回戦 対鮫川村 ● (0-15)
ふくしま駅伝	11月21日	しらかわカター ルスポーツパー ク(白河市)か ら福島県庁前 (福島市)まで	50 チーム 56 市町村	全体 27 位 町の部 10 位 (町 の部入賞)

## 12. 特別会計の状況

### 文化及びスポーツ振興育成事業特別会計(教育委員会事務局)

(決算書220頁)

令和3年度文化及びスポーツ振興育成事業特別会計決算額は、歳入1,474,000円、歳出1,040,000円で、前年度と比較して、歳入が1,000円(△0.1%)の減額、歳出が1,000円(△0.1%)の減額となった。歳出の主なものは負担金補助及び交付金290,000円(前年度175,000円)で、前年度と比較して115,000円(65.7%)の増額となった。

#### ○歳入歳出の状況

##### 【歳入】

(単位：円、%)

区 分	令和3年度 A	令和2年度 B	増 減 A-B	増減率
文化及びスポーツ振興基金 繰 入 金	1,040,000	1,040,000	0	-
繰 越 金	434,000	435,000	△1,000	△0.2
歳 入 合 計	1,474,000	1,475,000	△1,000	△0.1

##### 【歳出】

(単位：円、%)

区 分	令和3年度 A	令和2年度 B	増 減 A-B	増減率
交 際 費	0	0	0	-
需 用 費	0	0	0	-
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	290,000	175,000	115,000	65.7
積 立 金	750,000	866,000	△116,000	△13.4
予 備 費	0	0	0	-
歳 出 合 計	1,040,000	1,041,000	△1,000	△0.1

◆文化及びスポーツ振興育成事業助成金

科目 2 - 1 - 1 (決算書 2 2 2 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳(円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
290,000		290,000	

浪江町文化及びスポーツ振興基金を活用し、町の文化及びスポーツ活動の振興と育成を図るため活動団体等へ助成金を交付した。

○助成内容

(単位:件、円)

区分	事業名	種別	件数	助成額
スポーツ 事業	各種大会出場事業	全国大会	3	100,000
		東北大会	2	20,000
	スポーツ大会開催事業	単一種目大会開催事業	4	120,000
文化 事業	成果発表事業 (出版事業も含む)	生活文化	1	50,000
		計	10	290000